

日・韓・中ジュニア交流競技会の概要

◆目的

日・韓・中の青少年スポーツ交流を促進し、相互理解と競技力向上に資する。

◆開催方法

日本・韓国・中国の3か国持ち回りの親善試合形式の競技会

◆主催

日本スポーツ協会、中央競技団体、開催県スポーツ協会及び開催県等
(日本開催年)

◆期間

毎年度(原則)8月23日から29日(7日間)

◆対象

18歳以下の高校生世代 日本・韓国・中国と開催地選抜の計4チーム

◆競技

男女11競技 / 約1,000名(4チーム ※250名×4チーム)

〔陸上競技、サッカー〔男女隔年実施〕、バドミントン、テニス、
ウエイトリフティング、ラグビー〔男子のみ〕、ソフトテニス、
バレーボール、バスケットボール、卓球、ハンドボール〕

※競技会以外にも開催県の高校生とのフレンドシップ交流会の開催や
韓国・中国選手団を対象とした文化探訪を実施。

◆開催地

R 6 韓国(慶尚北道)、R 7 中国(内モンゴル)、R 8 日本(佐賀県)、
R 9 韓国(未定)、R 10 中国(未定)、R 11 日本(愛媛県)

※過去の日本での開催地(10道県)

H 5 福島県、H 8 長崎県、H 11 広島県、H 14 熊本県、H 17 北海道、
H 20 千葉県、H 23 愛知県、H 26 岩手県、H 29 茨城県、R 5 和歌山県
〔R 2～R 4 新型コロナ感染拡大により中止〕